



## まちひと百景

### 認定苫前こども園の園児が職場慰問

11月21日(水) 認定苫前こども園の藤組園児7名が、勤労感謝の日になんで役場を慰問に訪れた。

園児からは「いつもお仕事がんばってくれてありがとうございます」とあいさつ。森利男町長からは「ここでは町のためにいろんな仕事をしています。これからも頑張ってお仕事します」とお礼を述べていた。

- 苫前町表彰式…2
- 親子料理教室ほか…3
- NHKジュニア卓球教室ほか…4
- 年末年始の各施設・機関の業務ほか…5
- 健康ばんざい…6
- 地域包括ケアだより…7
- 介護ガイド…8
- 国民年金ほか…9
- 学びの広場…10
- 住まいる情報…11~13
- 平成29年度町の決算について…14~15
- 町民舞台ギャラリー…16



### まちの人口

人口/3,101人(男/1,480人:女/1,621人)  
世帯数/1,527世帯 (11月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

# 本町の発展に功績のあった方々を表彰

## 平成30年度 苦前町表彰式

平成30年度苦前町表彰式が、11月3日の「文化の日」にあわせてとままえ温泉ふわつとで挙行された。本町の発展の礎となられ、各分野でご尽力された受賞者の方々に、心からの賞賛と感謝の言葉を町民の皆様とともに捧げ、祝福申し上げます。

この表彰は、政治、経済、教育、文化、スポーツ、福祉などの各分野で功績のあった方々をはじめ、永年勤続者で業務に精励された方、多額の寄附をされた個人や団体などを表彰するものとして、毎年11月3日の文化の日にあわせて挙行されている。

今年度の表彰は、社会保健・教育文化スポーツにおける功労表彰に3名、自治関係における勤続表彰に4名、町の公益のため、多額の金品の寄附をされた1名1企業に善行表彰を授与した。

また、町内に80年以上在住し、家業等を通じ町の発展に貢献された33名にも感謝状と記念品が授与された。

表彰式では、森利男町長より「みなさんの献身的な努力、人知れぬ善行は、郷土愛の表れでありマチの誇り。今後とも貴重な経験をもって、町政進展への協力をお願いしたい」と式辞を述べた。



(敬称略)

阿部俊一町議会議長は、「住民の福祉向上、町の発展のためにご尽力いただいた。今は情報化社会時代で産業・福祉・教育などめまぐるしい早さで変化をしている。経験豊富な皆さんには今後ともお力添えをいただきたい」と祝辞を述べた。

受賞者を代表し自治功労者表彰を受賞した中館エイ子さんは、「町の発展のため微力ながら今まで頑張ってきた。これも地域の皆様や家族の支えがあつてからこそ。これからも苦前町のために尽力していきたい」と感謝の言葉が述べられた。

受賞者は、次のとおり。

### ◆功労表彰

〔自治功労者〕

檜森 正春 (古丹別)

交通安全指導員として40年以上にわたり、地域の交通安全推進に尽力している。

〔自治功労者〕

中館 エイ子 (旭)

交通安全指導員として35年以上にわたり、地域の交通安全推進に尽力している。

〔自治功労者〕

山本 啓一 (古丹別)

交通安全指導員として30年以上にわたり、地域の交通安全推進に尽力している。

### ◆勤続表彰

〔自治関係〕

瀬戸 詔隆 (力屋)

駐在員として5年にわたり、地域の町民に対する伝達事項及び調査関係事務などに尽力している。

伊藤 洋子 (古丹別)

交通安全指導員として10年以上にわたり、地域の交通安全推進に尽力している。

能戸 眞悟 (古丹別)

交通安全指導員として10年以上にわたり、地域の交通安全推進に尽力している。

〔教育関係〕

加納 喜久雄 (古丹別)

スポーツ推進委員として10年間にわたり、各種スポーツ事業へ積極的に参画し、地域スポーツの振興に努めている。

### ◆善行表彰

星野 恭司 (苦前)

合同会社 ユーラスエナジー苦前

町の公益のため、多額の金品を寄付した。

### ◆感謝状

〔永年在住〕

浅野 カツ子 (幸寿園)、木村 くに丞 (力 屋)
蟻戸 計 (幸寿園)、木村 五朗 (力 屋)
伊藤 榮子 (古丹別)、黒川 信正 (古丹別)
江島 心男 (古丹別)、後藤 健一 (古丹別)
大橋 ミチ子 (小 川)、齋藤 賢一 (旭)
加藤 チエ (九 重)、佐々木 曉子 (苦 前)
加藤 ミチ子 (長 島)、清水 秀雄 (九 重)
川村 優子 (古丹別)、新庄 正子 (古丹別)
菊地 敏子 (力 屋)、田井 貢 (岩 見)
高崎 洋子 (旭)、本田 チエ (旭)
谷田 キヨ子 (小 川)、松原 品子 (香 川)
千代谷 由夫 (苦 前)、眞鍋 博 (古丹別)
成田 求 (九 重)、村上 實 (古丹別)
平塚 マキ (力 屋)、山根 スナ (古丹別)
福井 忠義 (苦 前)、渡邊 武義 (古丹別)
星野 司 (苦 前)、堀田 泰 (古丹別)
渡邊 富子 (古丹別)

満80歳以上で苦前町内に60年以上在住し、家業等を通じ町の発展に貢献した。

## 親子料理教室



11月3日(祝・土) 公民館で社会教育課主催事業のカンガルースクールと苫前町少年少女体験教室(略称TDK)、苫前町食生活改善協議会の推進員6名が加わり「親子料理教室」を開催した。食改協の岩村奈緒子会長は「今日は包丁など、いろいろな調理器具を使います。お父さん、お母さんの言うことをきちんと聞いて、料理は好き嫌いをせず、全部食べるように」と呼びかけた。

料理は、オードブルずし、豚汁やデザートなど盛りだくさん。子供らは「楽しかった」「うまくできた」「おいしかった」など感想を述べていた。

## 学校給食にかずの子が振る舞われる



苫前小学校

11月7日(水) 町内のかずの子などの加工品を製造している(株)丸や岡田商店から、町内の小学校児童・生徒などにかずの子の提供があり、同事業所内で贈呈式が行われた。

岡田商店では、来年創業100周年を迎えるにあたり、何かお手伝い出来ないかと考え、今回のかずの子の提供が実現した。来年以降も出来る範囲で提供していきたいとのこと。

贈呈を受けた池田文敏教育長は「さっそく、子どもたちの給食に出させていただきます」とお礼を述べた。翌日には給食でかずの子が振る舞われ、子供達はおいしく食べていた。

## 全国書画展覧会で古丹別中学校3名が金賞・銀賞を受賞!



第86回全国書画展覧会で古丹別中学校2年の榎森快くん、同校3年の野村心優さんが金賞、同校2年の平井皓土くんが銀賞に入った。

年に1回開催される同展来会では全国で約14万2千点の出品があり、町内からの上位入賞は今回がはじめて。

担当した加地奈保子教諭からは「野村さんは、漢字とひらがなのバランス、止め、はね、はらいを注意してうまく書いていた。榎森君と平井君は、へんのところに特徴があるので、注意してうまく書いていた」と述べていた。

受賞した3人は「びっくりした」「実感が湧かない」などと感想を語っていた。

## チャリティーカラオケ歌合戦



11月12日(月) 町公民館で苫前町内会連合会と町社会福祉協議会共催の「チャリティーカラオケ歌合戦」が開催され、一般住民ら約140名が歌声に酔いしれた。

参加者は全部で15組、歌う前に紹介者が出て来て、紹介の理由を説明、自慢の歌を披露した。

主催者を代表して渡部一男連合町内会長が「はじめの開催。笑いと元気を皆さんにあげますので、皆さんからも笑いと元気を私たちに与えてください」と挨拶した。

斉数範章連合町内会副会長の司会で進行し、会場は終始笑いに包まれ、最後は抽選会をして盛会のうちには終了した。

## エゾシカの活用を考えよう ～苫前町消費者講座・公民館講座～



11月17日(土) 町公民館で、苫前町消費者講座・公民館講座「エゾシカの活用を考える」が開催され、主婦らを中心に13名が参加した。

第一部では、「エゾシカとの共生を探る」と題して北海道エゾシカ倶楽部代表の武田佳世子さんが「エゾシカは年間20%ずつ増えている。美しい動物だが、生態系を保つ必要がある。プラス資源と捉え有効活用しよう」と呼びかけた。

第二部では料理教室が行われ、シカ肉を利用してパエリア・ピザ・フルーツを作った。参加者からは「臭みもなく思っていた以上にやわらかくて美味しい」と好評だった。

## NHKジュニア卓球教室in苫前町



11月18日(日)町スポーツセンターで、NHK旭川放送局、町、町教育委員会主催による「NHKジュニア卓球教室in苫前町」が開催された。

講師は、ソウル五輪、バルセロナ五輪代表で、日本卓球協会女子ナショナルチームヘッドコーチで現在活躍中の選手の皆さんを指導する渡辺武弘さん。

はじめに、体育館のコート半面を使いジョギング、腕を上下に動かし、体の向きを替えたり、ダッシュの練習をした。

渡辺さんは「現在活躍中の丹羽孝希選手(苫小牧出身)をはじめ、北海道は優秀な選手がたくさんいて、レベルの高い地域、この町から将来、オリンピック選手が出てくることを期待します」と激励した。

## 学習成果を住民に広く発表 ～苫前商業高等学校体験発表会～



11月23日(祝・金)苫前商業高等学校(佐藤雅人校長)体験発表会が同校体育館で開催され、教育関係者、一般住民らも訪れた。

各学年の学習を行った成果のほか、商業教育フェア、国際交流事業の報告や町内企業・施設見学会の報告発表などが行われた。

札幌や地元で開催したスマイルウインド事業の発表では、プライスカードやポップの作成、品出しや商品整理など、普段の授業ではできない体験が出来たと感想が述べられた。

また、地元から持ってきた商品をほぼ完売し、成果や反省点などについても発表された。

発表会終了後には、研究開発商品の販売会も行われた。

## 農産物の活用について考える ～苫前中学校体験学習～



11月28日(水)苫前中学校(森正彦校長)1年生7名による体験学習「苫前町の農産物の活用について考える」と題して、JA苫前町前川彰農業振興部長が講師を務め、農産物の活用について説明した。

前川さんは「一番大切にしていることは、出会いと仲間。苫前町の農家同士は仲がよく、とても協力的だ。皆さんと出会えたのも何かの縁。少しでも農業のことをわかってもらえれば」と語った。

生徒からは、商品化、ライバルはどこ、今後の展開についてなどの質問があり、前川さんの説明を真剣に聞いていた。この後、カボチャを使った料理実習も行い、使い慣れている包丁に苦戦しているようだった。

## 応援協力職員として被災地厚真町へ



去る9月6日未明に発生した胆振東部地震で甚大な被害を受けた3町(厚真・安平・むかわ)へ、北海道からの職員派遣要請があり、本町は10月1日～5日、11月12日～16日の2回にわたり、厚真町に税務町民課の久保元氣主事を派遣しました。

食事や宿泊などは自らが賄うとともに、道内各地や東北各県から多くの応援職員が集まりました。

久保主事は、業務前研修を受けた後に、罹災(りさい)証明の被害認定を決定する調査事務に従事しました。



**久保主事から**

市街地では仮設住宅の建設も進むなど復興に向けて準備が進められていますが、郡部については土砂が水田に流れ込んだままや、崩れたままの状態がいくつも見受けられました。

苫前町でもし同様な災害が起きたとしたら、厚真町と同じような状況か津波の被害も出ると、より深刻な状況になると思います。幸いにも苫前町ではそれほど大きな地震はありませんが、普段から災害に対する準備が必要だと感じました。

# お知らせ

# 年末年始の町内各施設・機関の業務

年末年始の町内各施設・機関の業務については、下記のとおりとなっております。  
なお、ご不明な点などありましたら、各担当窓口までお問い合わせ下さい。

## ゴミ収集車の運行

- ▶年末  
12月28日(金)まで平常どおり収集
- ▶年始  
1月4日(金)から平常どおり収集

【お問い合わせ】  
保健福祉課  
けんこう係  
☎64-2215



## し尿くみ取り業務

- ▶年末  
12月26日(水)まで平常どおり営業
  - ▶年始  
1月7日(月)から平常どおり営業
- ※12月15日以降の申込みは、年内のくみ取りができない場合があります。お申し込みは、苫前環境産業(有) 64-2939へお願いします。

【お問い合わせ】  
保健福祉課けんこう係  
☎64-2215

## 歯科診療所の診療

- ▶年末  
12月28日(金)古丹別 } いずれも  
12月29日(土)苫前 } 午前まで診療
- ▶年始  
1月3日(木)苫前 ※緊急時のみ  
1月7日(月)古丹別 午後から診療  
1月8日(火)苫前 午後から診療

【お問い合わせ】  
保健福祉課  
けんこう係  
☎64-2215



## 患者輸送車の運行

- ▶年末  
12月28日(金)まで平常どおり運行
- ▶年始  
1月4日(金)から平常どおり運行  
(運行休止日)  
12月29日(土)～1月3日(木)まで

【お問い合わせ】  
保健福祉課けんこう係  
☎64-2215

## ななかまどの館

- ▶年末  
12月29日(土)まで平常どおり営業
- ▶年始  
1月4日(金)から平常どおり営業

【お問い合わせ】  
ななかまどの館  
☎65-4351

## とままえ温泉ふわっと

- ▶年末・年始も平常どおり営業

【お問い合わせ】  
とままえ温泉ふわっと  
☎64-2810



## 公民館・福祉センター 図書室・スポーツセンター

- ▶年末  
12月30日(日)まで平常どおり
- ▶年始  
1月6日(日)より平常どおり

【お問い合わせ】  
公民館  
☎65-4076



## 役場・古丹別支所業務

- ▶年末  
12月28日(金)まで平常どおり
- ▶年始  
1月7日(月)から平常どおり  
臨時窓口  
1月4日(金)  
午前10時～午後3時(本庁のみ)

【お問い合わせ】  
税務町民課おもてなし係  
☎64-2213  
古丹別支所  
☎65-3311

## 苫前クリニック・苫前厚生クリニック

- 苫前クリニック(苫前)
- ▶年末 12月28日(金)まで診療
- ▶年始 1月3日(木)から平常どおり  
{休診} 12月29日～1月2日

【お問い合わせ】  
苫前クリニック ☎64-9070

- 苫前厚生クリニック(古丹別)
- ▶年末 12月28日(金)まで平常どおり
- ▶年始 1月4日(金)から平常どおり  
{休診} 12月29日～1月3日

【お問い合わせ】  
苫前厚生クリニック ☎65-3535

## 地域社会貢献事業

## まちの施設を整備していただきました



### 郷土資料館前の砂利敷き ～北央道路工業株式会社～

苫前小平線道単構造改良工事を実施している北央道路株式会社 北空知営業所(櫻井優光所長)が、郷土資料館正面駐車場の砂利敷きを11月13日(火)に地域貢献事業として実施しました。

ありがとうございました。

健康ばんざい

冬の感染症に注意！

インフルエンザとノロウイルスについて

今月の担当は 瀬川保健師 です

冬はインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行してくる時期です。予防対策は万全ですか？

◆インフルエンザ◆

インフルエンザは例年12～3月が流行の時期とされています。インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、約10人に1人が感染しています。

インフルエンザにかからないためには？

- ①インフルエンザワクチンの接種～予防接種によってインフルエンザにかかる可能性が減ることはもちろん、もしインフルエンザにかかった場合に症状を軽減してくれる効果もあります。
- ②手洗い～インフルエンザウイルスを除去するために有効な方法です。そのため帰宅後や調理の前後、食事前などにこまめな手洗いを心がけましょう。またアルコールを含む消毒液で手を消毒することも効果的です。
- ③免疫力を高める～免疫力が弱っていると、インフルエン

ザにかかりやすくなってしまう。また、かかってしまった際に症状が重くなってしまう可能性があります。そのため、日頃から十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めるようにしましょう。

インフルエンザにかかってしまったら…

予防を十分に行っても、かかってしまうこともあります。①症状の回復と、②他の人へ移さないことが大切です。

- ①インフルエンザは咳や鼻水のどの痛みのような普通の風邪症状に加えて、38度以上の高熱、頭痛、関節痛・筋肉痛・全身のだるさ特徴的です。早めに病院を受診して、適切な治療・処方を受けましょう。
- ②自己判断での対応が危険な場合もあります。

②家族の看護をする時は、できる限り個室で療養させ、他の家族へ菌がうつらないようにタオルなどの共用は避けましょう。自宅で休養をとることとで他者への感染を防ぐことになりやすいです。自覚症状だけで

「もう大丈夫」と自己判断せずに感染期間を考えて行動しましょう。

◆ノロウイルス◆

冬の感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。日本では1年を通して発生しています。特に11月から感染者が増え始め、12月から1月が流行のピークとなります。

ノロウイルスにかからないためには？

ノロウイルスの感染原因は、食品の加熱や殺菌などの処理が不十分な場合、感染者の吐物等から人の手を介して感染する場合があります。予防するために食品を調理するときは十分に加熱して調理することに加え、感染者の吐物等を処理する際は手袋とマスクを着用し、処理後は必ず手洗いうがいを行います。

ノロウイルスにかかってしまったら…

ノロウイルスに感染してから発症までは24～48時間であり、主に軽い発熱や吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などが症状としてあります。

現在ノロウイルスに効果がある薬はないため、症状に対する治療が行われます。乳幼児や高齢者は脱水症状を起してしまう可能性があるため、

水分と栄養の補給を十分に行うことが必要です。脱水症状がひどい場合には点滴を行う

など治療が必要となるため、ぐに病院に受診するようにしましょう。



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

【500円（町が1,120円負担）で骨の密度が測定できます】

平成31年3月31日までに30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になる女性の方5年に一度のチャンス！！

■実施日程：平成31年2月28日（木）までの診療日

■検査方法：JA苦前厚生クリニックで腕の骨にX線をあて、骨密度を測ります。

直接、JA苦前厚生クリニックに電話（65-3535）で申し込みを！

\*事前予約が必要です。

\*骨粗鬆症治療中、定期検査中の方は対象になりません。

お問合せ：保健福祉課けんこう係  
64-2215

## 冬到来！調子を崩さずに過ごすために

11月20日（火）に寿いきいき教室が開催されました。体力測定をしましたが、参加された方から「夏は外仕事があるし、散歩もできるけど、冬は転ぶのが不安で運動ができなくなる」「インフルエンザや風邪は冬に流行しやすいので、調子を崩しやすい」という声を聞きました。

そこで、今回は感染症と筋力低下を防ぐ対策を紹介します。

### ●冬はしっかり手洗いをしよう！

手洗いは、最も簡単で効果的な感染症対策です。今月の「健康ばんざい」の記事に手洗い方法の説明図がありますので、御自身の手の洗い方をこの機会に確認してみましよう。「いつも外出後は手を洗っているから大丈夫」という方も、詳しく確認すると洗っている部分が限られていたり、石けんを使っていない方、洗う時間が少ない方が多いのです。

⇒ やっているつもりの方も **ここをチェック！！**

・石けんをつかって指先、親指の付け根、手首を洗っていますか？

・「もしもしかめよ」または「ハッピーバースデー」を歌い終わる間の時間、洗い続けていますか？

小学生のお孫さんがいる方は、学校でどのように手洗いをしているか教えてもらうのもいいですね。

・家族で具合が悪くなった人の手洗いタオルを分けて使っていますか？

また、手洗いのほかに、発熱がなくても調子が悪いときは外出を控える、いつもより早く寝るなど、早めに休みをとることも大切です。

### ●室内で運動をしよう！

足腰の筋力を冬の間上手に維持することで、除雪や翌年の外作業の時に身体の不調を少なくすることができます。歩くことだけが運動ではありません。冬の凍結した路面は滑りやすく転倒の危険が高まりますので、安全な室内での運動をお勧めします。また、膝、腰に痛みのある方は座って運動をすることで体重の負担をかけずに、鍛えることができます。

お勧めは「**元気いきいき体操**」

3種類の柔軟体操で、身体の動く範囲が狭くならないようにし、動きやすさを保ちます。その後の筋力運動で、生活動作で必要になる足腰の筋肉を鍛え、立ち上がったたり、歩く動作が安定してできるようにします。体操方法については、公民館で開催している「寿いきいき教室」で紹介していますので、ぜひ参加して実践してみましよう。また、地域の会館での集まり等で講習する機会をつくることもできますので、苫前町地域包括支援センターへお問い合わせください。

## 介護者家族の集い

10月18日（木）、苫前町公民館で、第4回介護者家族の集いが行われました。在宅で介護をしている介護者の方や現に介護をしている方だけでなく、家族介護に関心のある方など、4名の皆さんにお集まりいただきました。

一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団の菊地啓介作業療法士を講師に迎え、「家族介護の実際～リハビリの知識を活用した介助の方法」と題して、日常生活における福祉用具について実技を交えながらお話いただきました。瓶を開けたり、靴下を履いたりする作業を、自助具や身近な物で工夫することで、生活行為がしやすくなることを学びました。参加者からは、「私にはあまり必要ないかと思って来ましたが、今後のために大変便利かと思いました」、「工夫してみます」などの感想がありました。

次回は、12月7日（金）午前10時よりふわっとうにおいて、役場保健福祉課職員による介護保険についてのお話、交流会・意見交換会を予定しております。広く地域の皆様に御参加いただきたいと考えておりますので、ぜひお気軽にお申込みください。



### ◆事業のお知らせ◆

●1月24日（木）午前9時30分より苫前町公民館において「第5回寿いきいき教室」が開催されます。北海道総合福祉研究センターの池田ひろみ事務局長を講師に迎え「介護が必要になったら？」をテーマに開催する予定です。人数集約日は1月11日（金）となっておりますので、是非ご参加ください。

お問い合わせ

苫前町地域包括支援センター

☎64-2215

## 介護保険のサービスとサービスを受けるまでの流れについて

### 【介護保険で利用できる施設・居住系サービスについて】

介護保険で利用できるサービスのうち、今回は町内にある施設サービスと地域密着型の居住系サービスについて紹介します。

サービス費用は、要介護度や部屋のタイプなどによって異なります。また、サービス費用に加えて、食費、居住費や日常生活費などが必要になります。

#### 《施設入所サービス》

◎「要介護（1～5）」に認定された方が利用することができます。

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な場合に入所し、必要な介護サービスを受けることができます。
-------------------------	--

※要介護1又は2の方が利用する場合は、居宅で日常生活を営むことが困難なやむを得ない事由がなければなりません。

#### 《地域密着型の居住系サービス》

◎高齢者の方が、住みなれた地域での生活を可能な限り継続できるようにするため、地域の特性に応じた柔軟なサービスを提供するものです。

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症の高齢者が共同で生活できる場(住居)で、食事・入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。
---------------------------	---

※苦前町にある地域密着型サービスを利用できるのは、原則として、苦前町の被保険者のみです。

### 【介護保険のサービスを受けるまでの流れ】

介護保険のサービスを利用するには、苦前町が行う「要介護認定」を受ける必要があります。

「要介護認定」とは、どの程度の介護サービスが必要かを判断するための審査で、「要介護認定」の結果(介護度)により、介護保険サービスを利用できる量や内容が異なります。

#### 《手続の流れ》

- 1) 申請書の提出… 要介護認定を受けるために、本人又は家族等が苦前町に要介護認定の申請を行います。
- 2) 認定調査… 町又は委託先の認定調査員が、自宅等に訪問し、本人の心身の状況や日常生活の状況を調査します。
- 3) 審査・判定… 認定調査の結果と医師の意見書を基に機械判定(一次判定)を実施し、その結果から、「留萌中部介護認定審査会」で総合的に審査・判定(二次判定)します。
- 4) 認定・結果… 介護等が必要と判定された場合は要支援1～2と要介護1～5の区分に認定されますが、非該当(自立)と認定された場合はサービスを利用できません。この認定結果は、文書で通知します。
- 5) ケアプラン作成… 要介護・要支援認定を受けた方は、利用したいサービスについてケアマネジャー等と相談の上、「ケアプラン」を作成してもらいます。  
※「ケアプラン」…要介護度や利用者の心身の状態に合わせて、利用するサービスの種類、回数などを取りまとめた介護サービスの計画です。
- 6) サービス利用… ケアプランに基づいて、訪問介護や通所介護などサービス提供事業者から提供される介護サービスの利用が始まります。